

ラベル NO.	作品名	時間	媒体	対象	内容
001)	ハラスメントと人権 防ごう！パワー・ハラスメント 【人権一般】 (2006年 作品)	20分	DVD	企業 一般	パワー・ハラスメントは職場で働く人の名誉や個人としての尊厳を不当に傷つけたり、プライバシーを侵害したりするなど人権問題として許すことができない行為です。これらの行為は被害者に大きな精神的ダメージを与えると共に、職場秩序や就業環境を悪化させ、組織の効率的な運営にも支障をもたらす重大な問題となります。企業の社会的責任(CSR)が求められている中で、互いに人権を尊重し、職場で働くすべての人が明るい職場作りに自ら取り組まなければなりません。そのためにはパワーハラとは何かということを一人ひとりが理解することが大切です。 このビデオはミニドラマとナレーションで構成しています。ドラマで問題提起をして、視聴者に考えてもらいます。ドラマ部分の解説とともに振り返り、どこに問題があったのか検証していく構成になっています。
002)	企業に求められる人権意識とは？ 【人権一般】 (2006年 作品)	24分	DVD	企業 一般	企業に求められる人権意識のあり方を、「企業の社会的責任・CSR」「採用選考の基本」「環境問題への取り組み」などの項目ごとに、若い社員の目を通してわかりやすく描き、問題提起する作品。
003)	人権を行動する その時あなたはどうしますか 【人権一般】 (2007年 作品)	25分	DVD	一般	人権は、現代社会を生きる私たちにとって重要なキーワードであり、人権的な視点を考え方の基本にしていくことは今後ますます求められます。そのために、普段の何気ない日常の中での“気づき”を大切にすることがまず必要ですが、それを“行動”に結び付けて行く頃には更に大きなハードルがあります。私たちの生活の中で、人権を守ることの大切さをわかっていながら、なかなかそれを行動に移せないことは多いものです。このビデオでは、三つのケースを設定して、皆様に行動するかしないかの分岐点を提示します。その時、自分なりにどのように行動できるか、できないか、そしてその理由を考える中で人権をいかに行動につなげていくかを考えていきます。ビデオの巻末には自分自身を振り返るための素材として簡単なチェックリストも付けてあります。その時あなたはどうか？一緒に考えてみませんか。
004)	働きやすい職場をめざして 【人権一般】 (2007年 作品)	25分	DVD	企業 一般	職場で、うつ病を中心とするこころの病気になる人が増えています。主な原因として、職場での人間関係によるストレスがあげられます。こころの病は、誰にでもなりうる病気であり他人事ではありません。このビデオでは、ストレスを生む職場とは、どういう職場なのか。また皆がイキイキと働きやすい職場にするために、どういったことに配慮をすればよいのかを職場全体で話し合えるよう企画しました。
005)	日常の人権Ⅰ ～気づきから行動へ～ 【人権一般】 (2009年 作品)	23分	DVD	教職員 一般	この作品は、日常生活の中に潜むさまざまな人権問題を取り上げています。ドラマで人々の心にある偏見を、そしてドキュメンタリーで差別や偏見などで苦しむ人々の心の痛みを伝えます。人権について、さまざまな角度から考えることが出来る作品です。 ・日常の人権Ⅰ－女性の人権、子どもの人権、高齢者の人権 ・日常の人権Ⅱ－外国人の人権、障がい者の人権、部落差別、インターネットでの人権侵害。
006)	日常の人権Ⅱ ～気づきから行動へ～ 【人権一般】 (2009年 作品)	23分	DVD		
007)	同和問題と人権 -あなたはどのように考えますか- 【同和問題】 (2008年)	28分	DVD	一般	皆さんは、同和問題についてどのくらい知っていますか？同和問題は、日本社会の歴史的発展の過程で形作られた身分的差別により、日本国民の一部の人々が長い間、経済的・社会的・文化的に低い状態に置かれることを強いられ、今なお、日常生活の上で様々な差別を受けるなどの我が国固有の人権問題です。この問題の解決を図るため、国は、地方公共団体とともに立法措置を含む様々な対策を講じてきましたが、インターネットを悪用した差別的書き込みや結婚・就職問題を中心とする差別事案は、いまだに後を絶ちません。同和問題とは一体どのような問題なのか、どうしてこのような問題が存在し、何故なくならないのか。同和問題を正しく理解し、同和問題を解決するためにはどうすればよいのか、一緒に考えてみませんか。

ラベル NO.	作品名	時間	媒体	対象	内容
008)	インターネットと人権 (2010年 作品)	2 2 分	DVD	一般	いま、私たちの生活のなかでインターネットは欠かせないものになっています。さまざまな情報を瞬時に入手することができ、遠く離れた多くの人々との間でも簡単にコミュニケーションをとることができます。生活スタイルさえインターネットの影響で変わりつつあります。しかし、便利さの反面、インターネットに関わるいろいろな問題点も指摘されています。インターネットは匿名性が高く情報伝達も速いということもあり、重大な人権侵害を引き起こす事例も後を絶ちません。このビデオでは、インターネットに関して起こっているいくつかの実際の人権侵害取材し、事件の背景やインターネットの特性について考えていきます。そして、情報化社会のなかで人権と向き合うために私たちがどうすべきか探ります。
009)	人権のヒント 職場編 気づきのためのエピソード集 (2010年 作品)	2 2 分	DVD	企業 一般	ごく普通の会社員の日常を描きながら、日頃は気づかない「人権のヒント」を探り、職場のなかで私たちが考えるべき人権問題について提起する内容。
010)	人権のヒント 地域編 「思い込み」から「思いやり」 へ (2010年 作品)	2 5 分	DVD	一般	街の喫茶店「カフェ・ヒューマンライツ」のママのところに、さまざまな思いをいだいた人々が集まってくる。その交流のなかから、「人権のヒント」を考え、それぞれの違いを思いやる心の大切さを理解していく内容。
011)	私の中の差別意識 部落差別問題から考える (2010年 作品)	2 4 分	DVD	一般	部落差別問題を通し、人の中に巣食う差別意識への気づきを促してゆきます。 あからさまな部落差別は影を潜めましたが、まだまだ結婚差別や就職差別などは残っているのが現状です。この作品では、ドキュメンタリーを通し、差別された人々の心の痛みを伝えつつ、どうすれば差別がなくなるのか考えるきっかけを提供します。そして、自らの差別意識に気づき、正しい知識や判断力を持つことの大切さを伝えます。
012)	世界に衝撃を与えた日 【人権一般】 (2002年)	5 0 分	DVD	一般	日本を降伏させるためトルーマン大統領は原子爆弾投下を命じた。乗組員たちは原爆の威力を理解しないまま広島に向かった。そして、広島市の街は原爆によって一瞬で焦土と化した。
013)	ヒロシマナガサキ 【人権一般】 (2007年)	8 6 分	DVD	中学生 高校生 一般	記録映像の中の子供たちが、60余年を経て語り始める。14人の被爆者と4人の原爆投下に関与したアメリカ人の証言を軸に25年の歳月をかけて完成させたヒロシマ・ナガサキの真実。
014)	構えない 隠さない 飾らない ～障害者雇用最前線～ 【障がい者問題】 (2006年12月 制作)	3 6 分	DVD	企業 一般	特例子会社から地域の独立企業、街の洋菓子店まで、自前の知恵と工夫で障害者雇用に取り組む最新のユニーク7事例を徹底取材。大切なのは、同じ目の高さに立つこと、そして、-構えない・隠さない・飾らないの3つ-
015)	外国人労働者問題から多民族共生を考える 【外国人の人権】 (2007年)	3 2 分	DVD	企業 一般	企業が果たすべき社会的責任、それは『人権』『労働基準』『環境』、企業と労働者の双方から描いたドキュメンタリー。
016)	部落の歴史 【同和問題】 (2007年 制作)	5 3 分	DVD	一般	小・中学校の教科書から、「土農工商えた非人」や「部落は、江戸時代に作られた」という記載が、ほとんど消えてしまいました。本格的な歴史研究が進むにつれ、そうした考えは誤りであり、修正すべきという理解が、ここ20年、歴史研究者の間に定着してきたためです。この大きな部落史観の転換を受け、このたび作られたのが、当ビデオです。起源から現代まで、映像を通して、新しい部落史像を多くの人が共有できると思います。
017)	風の人になりたい 【同和問題】 (2007年)	3 7 分	DVD	一般	環境教育プランナー・岡本工介(28)の1ヶ月1万kmに及ぶアメリカの旅に密着、子どもたちの教育に人生をかけることを決意する姿を描きます。インディアン居留区や黒人解放運動の地で再確認した「つながる教育」の尊さ。これまでの運動の意味・成果をふまえた上での、これからの展望。部落問題が新しい時代に入った今だからこそ世に問う作品です。

ラベル NO.	作品名	時間	媒体	対象	内容
018)	ダリットに学ぶ部落の心 【外国人の人権】 (2008年)	3 6 分	DVD	一般	国際NGO・反差別国際運動(IMADR)で働く坂東希(29)。6度目のインド訪問はふるさと和歌山からのスタディツアーをリードします。カースト制度による差別が、今も根深く残る南インドの農村部。日本のかつての被差別部落との類似性に、参加者たちも、連帯への思いを強くしていきます。国や民族を超え、つながることで互いがエンパワメントされていく……。カースト制度下「不可触民」とされたダリットの人々との交流を通して、自らの解放運動の意味を思考する希の今を描きます。
019)	出会いを紡ぐ 【同和問題】 (2008年)	3 0 分	DVD	一般	アメリカ留学の経験をもつ川崎那恵(25)、ピースボートで世界一周した大学生・武田緑(21)。生い立ちや活動は違っても、互いにリスペクトするふたり。部落問題を共有するため、そして何より、自らが気持ちよく生きるために、肩肘張らず、柔らかいつながりの中で人権を考えて生きたい……。那恵はムラの暮らしを書き残そうと、お年寄りたちの聞き取りを始めたり、後輩たちを離島の被差別部落に誘います。緑は地元の青年部の活動と平行して、人権や教育を考える若者のネットワーク作りや学校のフィールドワーク、韓国へのスタディツアーにも参加します。ふたりのフラットでフレンドリーな解放運動とは？
020)	めぐみ 【拉致問題】 (2008年 3月)	2 5 分	DVD	小学生 中学生 高校生 一般	北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ。「拉致という、自由を奪う行為を忘れないでください」
022)	児童虐待と子どもの人権 【子どもの人権】 (2011年 作品)	2 3 分	DVD	一般	虐待の問題を他人事と捉えるのではなく、私たち一人ひとりに関係があることなのだとすることを自覚し、子どもの人権を守り虐待から救う社会を作ることが大切だという事を提起する。
024)	部落の心を伝えたいシリーズ 12 若い力は今・吉岡 綾 【部落差別】 (2009年11月 制作)	3 0 分	DVD	一般	自らの差別体験を通して、「差別をなくす人生」を生きる吉岡綾さん(27)。今、講演依頼が相次ぐ。若さ溢れる熱く力強い語りは、行政・企業・学校で大きな反響を呼んでいる。
025)	部落の心を伝えたいシリーズ 13 母娘で問うた部落差別・坂田か おり・愛梨・瑠梨 【部落差別】 (2010年11月 制作)	3 0 分	DVD	一般	鳥取県米子市を拠点に西日本で幅広く活動する坂田かおりさん。愛梨さん瑠梨さんとの母娘講演が今、大きな反響を呼んでいる。実体験を下に部落差別をはじめあらゆる差別にNO！を。
026)	部落の心を伝えたいシリーズ 14 人権感覚を磨きませんか・大 湾 昇 (2010年11月 制作)	3 0 分	DVD	一般	沖縄出身の父と部落出身の母の下徳島県で生まれ育った大湾さん。心理テストや自筆のマンガを使ったユニークでユーモラスな講演が人権問題を分かり易く説き起こす。
027)	部落の心を伝えたいシリーズ 15 夫婦で差別と闘います！・石井 眞澄・千晶 【部落差別】 (2010年11月 制作)	3 0 分	DVD	一般	琵琶湖の辺、結婚3年の石井夫妻。部落出身の妻と部落外の夫は結婚差別を契機に講演活動を始めた。異なる立場からの夫婦講演が差別の実態を重層的に暴いていく。

ラベル NO.	作品名	時間	媒体	対象	内容
028)	部落の心を伝えたいシリーズ 16 ドラゴン流 “人権とダンス” ～松本 柳子～ (2011年11月 制作)	30分	DVD	一般	優＝人＋憂 京都市内の部落で生まれ育ったドラゴン先生。父の遺言「優秀」＝「人の憂いに寄り添う」を実践して30年。8年前から育成学級を担当。 ダンスサークル10年 年齢・性別・障がいの有無を問わない150人がF D Fのメンバー。ダンスで育む「人のつながり」「心の癒し」 発信パワー全開 喜怒哀楽の素直な発露がダンスに結実。「プライドとリスペクト」が人間解放の要諦と語るドラゴン先生の奮闘の日々。
029)	部落の心を伝えたいシリーズ 17 仕事作りが私の仕事 ～植並 鈴枝～ (2011年11月 制作)	25分	DVD	一般	働く体験を蓄積：10代 中学3年で父の死。学業と仕事を両立させ、あらゆる働く現場を体験。それが現在の仕事＝就労支援に結びついた。 就労支援を開始：30代 4人の子育てで芽生えた社会とのつながり。様々な資格を取得。20年前C-S T E Pの前身(社)同和地区人材雇用開発センターに就職。 就職困難者をサポート：40代 解放運動に生きた父の口癖は「仕事保障」働くことで社会とつながる。就職困難者の就労支援を通し人権確立の社会作りを担う。
030)	部落の心を伝えたいシリーズ 18 「無知を許さず」 -連続大量差別はがき事件- ～浦本 蒼至史～ (2012年11月 制作)	30分	DVD	一般	誇りをかけた闘い 当事者として地獄の苦しみを味わった経験から掴んだ真実を語り続ける。二度と同じ事件が起きない事を願って。江戸の被差別民衆から学ぶ。 関西と関東では異なる部落の歴史に着目。 過去との対話を通して、現代社会に鋭い問題提起を行う“闘う研究者”の姿。 キーワードは「無知」 同和問題を始めとするあらゆる人権問題は“無知”に起因すること、を具体的に解説。差別解消の道は“啓発活動にあり”と説く。
031)	部落の心を伝えたいシリーズ 19 「差別を許さない自分づくり」 -寝た子を起こして30年- ～長谷川サナエ～ (2012年11月 制作)	26分	DVD	一般	解放運動30年 1981年の支部結成時から解放運動一筋に生きてきた長谷川さん(66)先祖の差別戒名を心に刻みながら部落差別と闘う。 新潟で唯一の隣保館 15年前、長谷川さん達が中心となり隣保館を立ち上げた。地区の内外をつなぐ大切な拠点となっている。 寝た子を起こす “寝た子を起こすな”の風潮は根強く残る。66歳の今も、講演活動や被差別民衆の伝統芸能の復活など、活動は多岐に亘る。
032)	部落の心を伝えたいシリーズ 20 「52歳の立場宣言」 -なかまがいれば人は変わる- ～岡潤爾～ (2012年11月 制作)	26分	DVD	一般	皮剥ぎ職人の誇り 「ケモノの皮剥ぐ報酬として…」水平社宣言の一節を生きてきた岡さんが体験した多くの差別事件から学ぶべきものとは？ 人権ファミリー “矢は矢で”返してきた岡さんの解放運動が大きく変わったのは本当の仲間がいたから。今、地域・学校・行政が一体となって進む。 本音で語り、共感し、本気で動く 本気でなければ、人は変わらない。語り合い、共感・共鳴し…人は動く。50歳にして掴んだ岡さんの信念だ。
033)	部落の心を伝えたいシリーズ 21 「結婚差別400事例」 ～弘瀬喜代～ (2013年11月 制作)	28分	DVD	一般	夫婦で闘う部落差別 高知の被差別部落に私生児として生まれ徳島に移り住む。地区外出身の夫と共に30年に亘り解放運動を続ける。 400事例に学ぶ 結婚差別の相談に奔走する中で掴んだ人間の真実。それは応援する人が必ず現れること。そして人は変わること。 他人事ではなく 自らの問題として考えて欲しい…。弘瀬さんの切実な願いは若い世代にゆっくり着実に沁みこんでいく。
034)	部落の心を伝えたいシリーズ 22 「心の窓を拓いて」 ～明石 一郎～ (2013年11月 制作)	30分	DVD	一般	地元小学校に復帰 小学校教師、全国同和教育研究協議会、大阪府教育委員会等を通じ人権教育に深く携わる。教育のチカラを信じる日々。 三つの明石さん 「読み書き計算・ボケ・ツッコミ」「ぐっすり・しっかり・すっきり」…単純明快さが信条。人権力を育むのは「好感・共感・親近感」。 同和教育と人権教育 差別解消の見通しを具体的に示す 講演は学校・家庭・地域コミュニティ・職場に元気と勇気を与える。

ラベル NO.	作品名	時間	媒体	対象	内容
035)	部落の心を伝えたいシリーズ 23 「 ^ふ 歩の歩み」 ～山本栄子～ (2013年11月 制作)	2 6 分	DVD	一般	識字を求めて ことばは人と人をつなぐ大切なもの。60歳を過ぎての学校生活から得たものは、知識が人生の選択を可能にすること。 「朝善さん」との出会い 朝田善之助と出会い解放運動へ。「人の話を聞け」その教えは今も活動の原点として生きている。 解放運動いざ本番 自立自闘の闘いが最重要。そのためには、原点に戻り、知ること学ぶこと。回顧ではなく未来を見つめる。
036)	部落の心を伝えたいシリーズ 24 「 ^{かわ} 皮革から見える部落問題」 ～ ^{かしわよし} 皮革研究家・柏葉芳徳～ (2014年11月 制作)	2 7 分	DVD	一般	講演と体験学習 ムラには最盛期70軒もの皮革工場があった。父の代から生業とし、自身も10歳の頃から皮革一筋の人生を歩む。 姫路の皮なめし 古代朝鮮から伝わった皮なめし。明治以降、近代日本の皮革産業を支えてきた。その歴史をひも解く。 イギリスで講演 2年前、皮革の本場イギリスに招かれた。日本人では初めて皮革技能士の称号を授与され、大学での講演も好評を博した。
037)	部落の心を伝えたいシリーズ 25 「芸能と差別」 ～ひとり芝居・中西和久～ (2014年11月 制作)	2 3 分	DVD	一般	世界を巡る「しのだづま考」 日本の芸能の源と言われる説経節を基に創られた異類婚姻譚。中西の代表作。文化庁芸術祭賞の他、海外でも受賞多数。 三代つづく旅役者 祖父は座長をしながら水平運動に。松本治一郎との縁は、父の人生を変え、大学進学、教師への道を拓いた。 役者か教師か 同和教育の教師を目指していたが、父の最後の戯曲が演劇への道を決断させた。今、芝居で思いを伝える。
038)	部落の心を伝えたいシリーズ 26 「生きた童話を届けたい」 ～猿まわし・筑豊大介～ (2014年11月 制作)	2 8 分	DVD	一般	歴史を通して人権を考える 古来より猿は馬の健康を守る使いとして崇められてきた。猿まわしは部落の伝統芸能であり生業だった。 部落差別・つながり・平等 消滅していた猿まわし復活の三原則は、部落問題・人と人とのつながり・平等。 輪の芸能 高齢者施設、障害者施設、保育所、小学校などで心待ちにする人々。心も癒す猿まわしが平等の輪を作る。
039)	部落の心を伝えたいシリーズ 27 「出会いから学ぶ」 ～しなやかな新世代～ ～高田美樹～ (2015年11月 制作)	29分	DVD	一般	人は人との関わりなくして生きることはできない。マイナスの出会い、プラスの出会い、…そして、出会いが人を変え人生を豊かに作り上げていく。高田美樹(29)、高校での生涯の仲間との出会い…母方の祖父との18年目の出会い直し… 働く現場で実体験した様々な差別… それらを全て養分に転換し、しなやかに生きる。暗・重・辛を明・軽・楽に変える新世代の誕生。 ・生涯の仲間との出会い ・両親の受けた結婚差別 ・子どもたちとつながる
040)	部落の心を伝えたいシリーズ 28 「夢のために」 ～闘い続ける家族～ ～中山末男～ (2015年11月 制作)	28分	DVD	一般	父が始め、兄弟が受け継ぐ 九州の久留米に生まれ育った中山末男は、解放同盟筑後地区協議会委員長を務める。父は解放運動の先駆者として地元をはじめ全国を飛び回った。兄は狭山事件の主任弁護士を務める。中山が語る人生の足跡、少年時の生々しい差別体験、結婚差別、そして、長男に降り掛かった差別事件。その闘いの日々を熱く語る。 ばあちゃんのリヤカー 母は38年間、廃品回収で家計を支えた。その生き方は人権劇となり、幾度も上演されてきた。2015年絵本になり出版された。「私の生きてきた姿を伝えておきたい。たくさんの人達と手を結べ。ばあちゃんは決して負けんやったバイ」解放運動を陰から支えつづけた母の姿は、いつしか反差別・平等・平和の象徴となった。 夢は人権のまちづくり 中山が中心となり久留米市人権啓発センターが設立された。人権啓発、教育が続けることが差別との闘い。「久留米から発信する人権のまちづくり」を中山は仲間と共に確信をもって挑み続ける。住民の意識調査や現状認識の事実、加えて赤裸々に語る自らの生い立ち。熱く、やさしく、穏やかに…講演の引き合いも絶えない。

ラベル NO.	作品名	時間	媒体	対象	内容
041)	部落の心を伝えたいシリーズ 29 「私は変わることができる」 ～熱と光で生きる力を～ ～西村敦郎～ (2016年11月 制作)	26分	DVD	一般	自尊感情とエンパワメント 体の弱かった西村さんは、いじめられっ子だった。中学2年のとき、遊びに行った同級生の祖母から初めての部落差別を受けた。両親に言えなかった。チカラを信じ体を鍛えた。荒れた時期もあった。高校2年、解放運動との出遭いがすべてを変えた。自尊感情の激しい凹凸を経験した西村さんは今、プラスを生きる力＝エンパワメントを熱く語る。 赤碕文化センター 隣保館と児童館を併設した赤碕文化センターは部落解放の拠点だ。その取り組みを学ぶために全国からフィールドワークに訪れる人は多い。館長を務める西村さんは、明るくエネルギーあふれる春美・直美コンビ、差別戒名を研究する前田さん、皆でしっかりスクラムを組みながら、講演活動にも飛び回る日々だ。 無知と無関心そして無自覚 差別を残す側なのか、差別を無くす側なのか。差別は、誰が傷つき、誰を不幸にしているのか。…西村さんは鋭く問う。私は変わった。だから人は変わることができる。「やればできる」の土台は「自分もできる」熱と光で生きる力を！…西村さんは熱く訴える。
042)	部落の心を伝えたいシリーズ 30 差別を問うた20年/29証言 (2016年11月 制作)	30分	DVD	中学生 高校生 青年 成人	「なんで仕事ないねん。学校行ってないんです。なんで学校行ってないねん。家に金ないんです。なんで家に金ないねん。仕事ないんです。そこに 部落差別があったんです 」「差別は人と人の関係をバツサリ切ってしまう。 人を殺すこともあるんです 」 「差別にとって一番の問題は、差別をしている人間が 差別だと気づかない …ことです」 「子どもたちに 差別解消の道筋を示す のが我われの責任」「 人の値打ちを問う 」 部落の心を伝えたいシリーズは、当事者が自ら部落問題について語り、差別撤廃にむけた生き様から学べる作品が、シリーズ第1作から20年がたちました。部落差別解消法が施行された今、部落問題の本質に迫れる作品です。
043)	部落の心を伝えたいシリーズ 31 ありのまま生きる さかた あいり るり ～坂田愛梨・瑠梨～ (2017年11月 制作)	24分	DVD	一般	寝た子を起こす 「寝た子を起こすな」で始まり「寝た子を起こす」で終わる部落問題。それを間近に見聞きしてきた姉妹は、「寝た子を起こす」活動を無理せず軽やかに積み上げる。 逃げればいい、躲(かわ)せばいい 差別との闘い方を教えたのは江嶋修作先生だった。「圧倒的な力で差別してくる相手には、逃げればいい。躲せばいい。しなやかに生きることが大切なんだよ」 母から娘へ、そして子へ 母から受け継ぐ「ありのまま生きる」姿が幼い頃から姉妹の自尊感情を育んだ。たくさんの仲間をつくり、つながりを結び、プラスの出会いを重ねていく。幼子にも部落にルーツをもつ「私」を伝えていく。
044)	Imagination イマジネーション 想う つながる 一歩ふみだす 【人権一般】 (2014年)	34分	DVD	中学生 高校生 青年 成人	ラジオ局で番組パーソナリティを務めるサヤカの元には今夜もリスナーから相談の便りが届く。現代社会に悩む様々な人々が番組を軸に心を通わせ、明日へとつながる一歩を見つけていくドラマ教材。 ・いじめをなくすのはアナタ(子供の人権・いじめ問題) ・「関わらないのが一番」それ本当？(同和問題) ・見えにくいから知ってほしい発達障害のこと(障害者の人権)
045)	わっかカフェへようこそ ～ココロまじわるヨリドコロ～ 【人権一般】 (2015年 制作)	35分	DVD	中学生 高校生 青年 成人	あなたには「心のよりどころ」がありますか？忙しい日常に追われて誰かと「心を交流する」することをおろそかにしていませんか？町野路地にたたずむこの小さなカフェにはいろんな人が訪れ駿と桜が出迎えます。ココロまじわるヨリドコロ。ようこそわっかカフェへ。 ・三色団子の向こう側(インターネットによる人権侵害) 初めてスマートフォンを持つ中学生が主人公。 ・世代をつなぐ柏餅(高齢者の人権) 高齢者の生きがいと若い世代との交流。 ・コンパイトウの来た道(外国人の人権) 日本に住む外国人はどんな悩みや困りごとを抱えているのか。日本人はどう向き合っていけばよいのか。

ラベル NO.	作品名	時間	媒体	対象	内容
047)	新・人権入門 【人権一般】 (2014年 作品)	25分	DVD	一般	職場における人権課題を考える 職場でありがちな人権的なトラブルシーンを、企業の人事担当者から取材した実際の出来事を16話のショートドラマとして再現。視聴者が今見たドラマには一体どんな人権課題が含まれていたのか?もしくははないのか?自分がそのシーンに遭遇したらどのような行動がとれるのか?視聴者とドラマの出演者がともに学び、悩み、考えることのできる教材です。 【収録テーマ】 ・パワハラ ・セクハラ ・女性活躍推進 ・障がい者への配慮 ・外国人との共生 ・表現と人権 ・自他尊重コミュニケーション・多様性尊重トレーニング・LGBT・同和問題 など
048)	多様性を尊重した職場のコミュニケーションと人権Ⅱ 個に向き合い、伝え合う 【人権一般】 (2015年 作品)	25分	DVD	一般	外国人社員や障がいのある社員の増加等、あらゆる場面で職場の多様化が進む現代社会。企業で働くメンバーが、相手の“多様性”(個)に目を向け、それを尊重するコミュニケーションをとることが必要となってきました。相手の価値観や想いに目を向け、それを意識することで円滑で働きがいのある職場になるのです。企業の多様化が原因で発生する人権課題とその解決のヒントを分かりやすく描くドラマ教材です。 ・フツーって何? 多様性を尊重した職場とは? ・私を伝える 一緒に働く仲間への伝え方を工夫する ・違うけどつながる 外国人社員、障がいのある社員と働く
049)	そんなの ^き 気にしない —どうわ もんだい— 同和問題— (2016年 作品)	17分	DVD	一般	人権問題は難しい問題ととらえられがちだが、実は身近な生活のなかに潜んでいる。日常のなにげない一言や行動の中にその芽がある。人権の基本は、相手を思いやり大切にすること、自分の尊厳も守り大切にすること。こうしたことは私達の日常生活や社会生活・職業生活の上で意識していきものです。テーマごとに人権課題をドラマで掘り下げて、人権を意識し気づき、明日の自分のために一歩ふみだせるように工夫した構成です。
050)	ウェルカム! —外国人の人権— (2016年 作品)	16分	DVD	一般	日本で暮らし働く外国人は200万人を超えて、さらに増加傾向にあります。外国人も私たちの社会の一員として、ともに生活し働いていくには、多様性を尊重してもらう必要があります。この作品は、企業の広報担当者を主人公に、異文化の壁をむしろ扉としてとらえ、開いていくことを描いた作品です。
051)	誰もがその人らしく —LGBT— (2017年 作品)	20分	DVD	一般	主人公の周りにいたけれども見えなかったLGBT(性的少数者)の人たちが、様々な出来事を通してその存在が明らかになります。各種の統計よりLGBTの人たちは、確かに存在し、その心無い偏見や差別に苦しんでいるという厳しい現状があります。LGBTの問題は、自分の身近な存在の人にもいるかもしれず、決して他人事ではないという認識のもと、『誰もが自分らしく生きやすい社会』の実現に向けて、学ぶことのできる作品です。 チャプター①「LGBTに対するセクシュアルハラスメント」 チャプター②「性のグラデーション」 チャプター③「カミングアウトとアウティング」 チャプター④「誰もがその人らしく」
052)	ともに生きる私たちの未来 「部落差別解消推進法」 がめざすもの (2017年 作品)	38分	DVD	一般	2016年12月、部落差別の解消を目的とした「部落差別解消推進法」が施行されました。この法律が制定された背景には、後を絶たない部落差別がネット社会の中でますますエスカレートし、人権侵害が深刻化している現実があります。「部落差別解消推進法」はこうした部落差別の存在を公式に認め、部落差別のない社会を実現することを目的に、国や地方公共団体に対して差別解消を推進する施策の実施を求めているところに意義があります。この作品では「部落差別解消推進法」ができた背景の現実社会とネット上で起きている新たな差別実態を明らかにする一方で、被差別部落にルーツを持つことに誇りと自信を持って活動する若者たちを紹介しています。この二つの視点から、ネット社会の中で新たな局面を迎えている「部落問題」について考え、「ともに生きる社会」をどう実現していくのか、私たち一人ひとりに問いかけていきます。

ラベル NO.	作品名	時間	媒体	対象	内容
053)	お互いの本当が伝わる時 -障害者- (2018年 作品)	24分	DVD	企業 一般	雇用分野に関して改正障害者雇用促進法が、雇用以外の分野に関して障害者差別解消法がそれぞれ施行され、事業者・事業主に対して、障害者に対する「不当な差別的取扱いの禁止」と「合理的配慮の提供義務」が定められました。 しかしながら、障害のある人に対する差別は解消されたとは言えず、また自分が意図せずとも相手を傷つけているケースも少なくありません。 「障害のある人をどう手助けすればいいのかわからない」という声をよく耳にします。今作「お互いの本当が伝わる時」では、障害のある人が、どんな場面で困っているのか、どんな「バリア」があるのかなどの具体例を挙げ、それをどう取り除いていけばいいのか、また障害のある人から発信することの重要性も示しています。 「障害のあるなしに関わらず皆で共生していくためにはどうすればいいのか」を、考える一助となれば幸いです。
054)	voice!!! -人権の教室- (2017年 作品)	38分	DVD	一般	ようこそ「人権の教室」へ。 中学生・高校生合わせた3人が、招待状を見ながら休日の教室に集まってきます。ただ、子供達は内心、「人権」についていまひとつピンと来ていない様子。さて、どんな授業が始まるのでしょうか… チャプター①-人権の教室- チャプター②-声援- チャプター③-発信- チャプター④-歌声- チャプター⑤-声援- チャプター⑥-共鳴-
055)	部落の心を伝えたいシリーズ 番外編 「恥ずかしい」のはどっちだ 差別する側・される側 ～江嶋修作～ (2018年 作品)	27分	DVD	一般	原点は狭山事件だった 社会学者として狭山事件に関わったことが部落問題との出会いだった。聞き取り調査を通して生まれた思い。それは、差別問題への関わりは“情と共感”抜きに成立しないという確固たる信念だった。 一貫して変わらぬ視点 1983年、一冊の本が出版された。やがて多大な影響を及ぼすことになった江嶋修作編“社会「同和」教育変革期”だ。新しい同和教育への熱い思いを込めて、「変革期」に「つくりかえ」とルビが打たれた。 人権 テイク・ルート(根を張る) 2018年10月、「人権 テイク・ルート」の初総会。江嶋修作を敬愛するたくさんの老若男女が全国各地から駆けつけた。「差別は醜いこと」だから「カッコよく」生きる。江嶋修作の撒いた芽が花開こうとしている。
056)	わたしらしくあなたらしく 多様な性を生きる (2018年 作品) 【2019年 購入】	38分	DVD	一般	多様な性が存在することに対する無知や無関心によって生じる差別や偏見。それが根強く残るいまの社会で、性的マイノリティの人にとって、本当の自分をカミングアウトすることは容易ではありません。 このビデオでは、悩みながらも自分らしく生きようとする性的マイノリティの人たちの姿を通して、多様な性が共に生きる社会はどうあるべきかを考えていきます。
057)	部落の心を伝えたいシリーズ32 ネット差別を許すな！ ～川口 泰司～ (2019年 作品) 【2019年 購入】	28分	DVD	一般	形を変えた部落差別 ネット上で部落/部落出身者が晒される。無法地帯化するネット上の差別の現実を差別ハガキを送られた当事者自らが語る。 「寝た子」はネットで起こされる 無知・無理解・無関心な人ほど危険！ネット社会の危険性と構造を解き明かし、行政、企業、個人でのネット対策を提起。 ピーカーの泥 人間の心の奥底にある偏見、差別。「ピーカーの底に沈殿した泥」に例え取り除く人権教育の必要性を訴える。

ラベル NO.	作品名	時間	媒体	対象	内容
058)	知りたいあなたのこと 外見からはわからない障害・病 氣を抱える人 (2019年作品) 【2019年 購入】	21分	DVD	一般	外見からはわからない障害や病氣を抱えながら日常生活を送っている人は多くいます。一見すると健康そうに見えるので、障害や病氣が周囲に理解されず、辛い思いをすることもあるといいます。この作品では、2人の難病患者さんと、てんかんと発達障害をもつ大学生を取材しました。どんな場面で困っているのか、どんな配慮が求められているのか。外見からはわからない障害や病氣を抱える人の話を通じて、私たちにできる配慮を共に考えていく内容です。
059)	公正な採用選考が 企業にもたらすもの (2018年作品) 【2019年 購入】	25分	DVD	企業	企業において、採用選考は会社の未来を描くための大切な業務であり、それを公正に行うことによって良い人材を確保することは、企業の発展に不可欠なことです。採用選考が公正に行われず、予断や偏見により採用担当者が合否の判断を誤ると、かけがえのない人材を永久に失ってしまいます。また、そればかりではなく、採用選考時に応募者の人権をないがしろにすれば、その情報が広く伝播し、会社そのものの信頼を失いかねません。このDVDでは、公正な採用選考の意義や、公正さをいかに守っていくかなどについて、具体的な事例をふんだんに盛り込み、企業の採用担当者の目線でわかりやすく描くものです。
060)	パパは女子高校生だった！ (LGBTシリーズ) ～前田 良～ (2019年作品) 【2020年 購入】	28分	DVD	一般	女性から男性へ性別転換し、その後二人の子をもつ父親となった前田良(37)。一審、二審で敗訴しながらも最高裁で勝訴する。日本で初めて戸籍上で実子と認めさせた。性同一性障がいのため戸籍の性別を女性から男性に訂正し結婚した著者。非配偶者間人工授精(AID)で妻が産んだ子の出生届を役所に出すと父親の名前を消すよう促された。納得できずに裁判を起こし最高裁で逆転勝訴を勝ち取ったパパと家族の記録。
061)	虹ステーション ～虹色ダイバーシティ～ (2017年 - 2018年作品) 【2020年 購入】	250分	DVD	一般	あなたの「知りたい！」に応えるLGBT情報番組、「虹ステーション」!!LGBTは、レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダーの頭文字を取った言葉です。私たち虹色ダイバーシティは、LGBTに関する皆さんの「知りたい」気持ちや、お悩みに応えるため、情報番組「虹色ステーション」のYouTubeチャンネルを2017年12月10日に開設しました。LGBTに関する基礎知識や様々なシチュエーションごとに役立つ分かりやすい動画を配信しています。
062)	障害ってなに？ 問いかける声 問われる社会 (2019年作品) 【2020年 購入】	39分	DVD	一般	何気なく使われる「障害者」という言葉。そもそも「障害」とは何なのでしょう？「障害」は「心身の機能的な障害」だとイメージする人が多いかもしれませんが。しかしこの作品では「社会にある障害」について考えていきます。この数十年の間に障害者を取り巻く状況は改善されてきました。その一方で変わらない課題も多く、近年には「命の尊厳」を脅かすような事件も起きています。そんな日本の現状の中で、「社会にある障害」とは何なのか？誰もが生きやすい社会を作るにはどうすればいいのか、さまざまな「問いかける声」を伝えます。
063)	サラーマット ～あなたの言葉で～ (2019年作品) 【2020年 購入】	36分	DVD		作品のテーマは「SNS時代における外国人の人権」です。主人公の珠美は、新しく職場にきたフィリピン人のミランダに対し様々な「違い」を「壁」と捉え、面倒な存在だと感じてしまいます。しかし、自分とは異なる文化や考え方を持つミランダとの対立や交流を通して、珠美は新たな視点に気づかされ「違い」は様々な問題解決の糸口になることも学んでいきます。珠美とミランダの姿を通して外国人は「受け入れてあげる存在」でも「労働力」でもなく、助け合うことができる対等な仲間であつたSNSを傷つけるための道具としてではなく、人の心と心をつないでいくために利用する様子を描きます。異なる文化の人たちを共に未来をつくる新しい存在として尊重し、互いに高め合っていく。そんな多文化共生社会の実現をめざす人権啓発ドラマです。

ラベル NO.	作品名	時間	媒体	対象	内容
064)	わからないから、確かめ合う ーコミュニケーションー (2018年作品) 【2020年 購入】	29分	DVD	一般	昨今、長時間労働による過労死、セクハラやパワハラなどのハラスメント、不当な差別など、企業が関わる様々な「人権問題」がメディア等で大きく取り上げられます。こうした人権問題への対応は、時として、企業の価値に大きく関わります。そのため、企業の社会的責任(CSR)や社会的責任投資(SRI)に対する関心の高まりと相まって、人権尊重の考え方を積極的に企業方針に採り入れたり、職場内で人権に関する研修を行う企業も増えてきています。昨今「わからないから、確かめ合う」では、ハラスメントや差別的扱いなど、多くの日本企業が直面する可能性が高いテーマを中心に取り上げ、それらに共通する解決策として「コミュニケーション」を提示しています。誰もが暮らしやすい社会を目指して一歩ふみだしましょう。
065)	阿賀に生きる (1992年作品)	115分	DVD	一般	新潟県を流れる阿賀の川。58か所もの発電所で埋め尽くされ、新潟水俣病の舞台ともなった川。新潟水俣病という社会的なテーマを根底に、川筋で生活する人たちの命とくらしのドキュメンタリー作品。
066)	S A Y A M A みえない手錠をはずすまで (2013年作品)	105分	DVD	一般	1963年5月1日、埼玉県狭山市で発生した女子高校生殺害事件、いわゆる「狭山事件」。犯人にされたのは、被差別部落に住む石川一雄さんだった。獄中32年、仮出獄から24年。事件から半世紀「殺人犯」というレッテルを背負い続けながら、石川さんは今もなお「私は無実です」と訴え続ける。狭山事件が発生した時代背景や、部落差別を容認している現在社会の現状と重ねて視聴ください。
067)	今そこにいる人と、 しっかり出会う ー同和問題ー (2020年度作品) 【2021年 購入】	24分	DVD	一般	同和問題は、今も根強く現存する日本固有の差別問題です。生まれた場所や住んでいる場所で偏見をもって差別する人がいるという理不尽な差別問題です。本作では、同和問題について理解を深めていただくと同時に、同和問題をモチーフに人と人がしっかり出会い、差別問題を自分事としてどう向き合っていくかについてのヒントをドラマ形式で構成しています。
068)	部落の心を伝えたいシリーズ 33 「12年後の決断」 ～吉岡 綾～ (2021年11月 制作) 【2022年購入】	28分	DVD	一般	2009年11月制作の『部落の心を伝えたいシリーズ12「若い力は今」』から12年が経ち、その間、綾さんは結婚し、生活環境も激変した。二人の子どもに部落についてどう伝えるべきか、母としての不安、揺れ動く気持ちを赤裸々に語る。心を蝕むリアルな部落差別が、ここにある。
069)	水平社を立ち上げた人々 ー人間は尊敬すべきものだー (2020年作品) 【2022年購入】	17分	DVD	一般	1922年3月3日、京都の岡崎公会堂にて「人間は、差別するものでなく、尊敬すべきものだ」と宣言し、「全国水平社」が結成されました。このDVDでは、日本の人権の歴史を大きく変えた水平社創立の背景や、創立大会の様子、そこに参加した人々の想いを、現地や関係者を訪ねて取材し、自分たちの力で差別をなくそうと立ち上がった人々の姿から学ぶことにより、「差別」を根絶するため、いま何をなすべきか考える内容となっています。
071)	部落の心を伝えたいシリーズ番外 編 「私と部落とハンセン病」 ～林 力 99歳の遺言～ (2023年制作) 【2023年購入】	26分	DVD	一般	九州で初めて同和教育を始めた林力さん99歳、そのきっかけは父のハンセン病だった。差別が厳しかった時代、林さんは父の「隠して生きる」の言葉に忠実に生きる。教員となった林さんは水平社宣言に出会う。「恥でないことを恥とするときそれは本当の恥になる」「無知こそ差別の始まりである」揺るぎのない信念で反差別を貫く林さんの生きざまを伝えます。

072)	ゲイ夫夫（ふうふ）の結婚相談所～田辺義宗 新井智尊 ～ （2023年制作） 【2023年購入】	27分	DVD	一般	ずっとゲイを隠し続けてきた二人は、2020年にお見合いし、すぐに意気投合、今では一緒に暮らし活動する、最高のパートナーとなった。2021年、神戸にゲイに特化した当事者による日本初の結婚相談所を開設する。二人の思いは一つ。パートナーシップ制の先にある同性婚の法的な成立。”好きな人と安心して暮らす”誰もが願う幸せの実現に向けた二人の姿に迫ります。
073)	部落差別まだあるの？どこにあるの？なくせるの？～奥田均～ （2024年制作） 【2024年購入】	30分	DVD	一般	部落差別解消推進法が施行されてから8年。素朴かつ根本的な3つの問いに豊富なデータと積み上げた研究実績で分かりやすく丁寧に答える、部落問題学習の初級・入門編。
074)	私は部落から逃げてきた ～西田昌矢～ （2025年制作） 【2025年購入】	30分	DVD	一般	水平社宣言から100年の2022年、九州の新聞社の連載記事が大きな反響を呼んだ。担当した当時28歳の記者、西田昌矢さんは、カミングアウトした上で家族や友人知人へ取材し部落問題の現実を描いた。今その体験をもとに講演活動を行っている